

製品名: SPARC ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18165**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	SPARC
別名	SPARC; ON; SPARC; Basement-membrane protein 40; BM-40; Osteonectin; ON; Secreted protein acidic and rich in cysteine
遺伝子 ID	6678.0
SwissProt ID	P09486
免疫原	抗血清はヒト SPARC の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

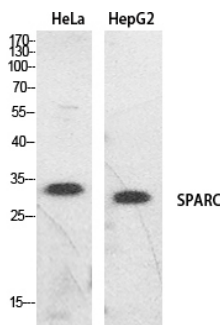
背景

この遺伝子は、システインに富む酸性マトリックス関連タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、骨のコラーゲンが石灰化するために必要ですが、細胞外マトリックスの合成や細胞形状の変化の促進にも関与しています。遺伝子産物は腫瘍抑制と関連付けられていますが、腫瘍細胞の浸潤を促進する可能性のある細胞形状の変化に基づく転移とも相関しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015年6月]、発生段階:形態形成、リモデリング、創傷修復中の組織で高レベルで発現しています。機能:細胞外マトリックスおよびサイトカインとの相互作用を介して細胞の成長を制御していると思われます。カルシウムと銅、数種類のコラーゲン、アルブミン、トロンボスポンジン、PDGF、および細胞膜に結合します。カルシウム結合部位が2つあります。5~8個のCa(2+)と低親和性で結合する酸性ドメインと、Ca(2+)イオンと高親和性で結合するEFハンドループを有する。オンライン情報:オステオネクチンエントリ、類似性:SPARCファミリーに属する。類似性:1つのEFハンドドメインを含む。類似性:1つのフォリスタチン様ドメインを含む。類似性:1つのカザール様ドメインを含む。細胞内位置:基底膜内またはその周辺。

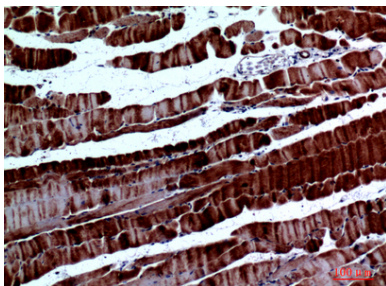
研究分野

細胞生物学、細胞周期、細胞周期阻害剤、心血管、血管新生、接着/ECM、細胞外マトリックス、シグナル伝達、タンパク質リン酸化、チロシンキナーゼ、受容体チロシンキナーゼ、細胞骨格/ECM、細胞外マトリックス、構造、骨、幹細胞、系統マーカー、内胚葉、間葉系幹細胞、骨形成、癌、発生生物学、系統の特定

画像データ



SPARC ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された